

授業科目名・形態	成人看護方法論Ⅱ	演習	必修・選択の別	必修
担当者氏名	佐藤純子・今野 修	開講期	2年前・後期	単位数 2

### 【授業の主題】

急性期、回復期、クリティカルな状況にある成人期の対象と家族の特徴とニーズを理解し、その特徴と家族への看護援助方法を学ぶ。また、機能障害別に症状の特徴を理解し、成人期の対象の特性を踏まえた看護援助方法を学ぶ。

### 【到達目標】

- 1) クリティカル状態の患者・家族の特徴と看護援助について理解する
- 2) リハビリ期にある患者の特徴と必要とされる看護援助について理解する

### 【授業計画・内容】

#### 前期) 担当：佐藤

- 第1回 クリティカルケア看護の考え方  
 第2回 クリティカルケアを必要とする人の特徴と看護  
 第3回 リハビリテーション看護の考え方  
 第4回 リハビリテーションを必要とする人の特徴と看護  
 第5回 呼吸器系の障害のある患者の看護  
 第6回 呼吸管理とその看護  
 第7回 循環器系の障害のある患者の看護①  
 第8回 循環器系の障害ある患者の看護②  
 第9回 消化器系の障害のある患者の看護①  
 第10回 消化器系の障害のある患者の看護②  
 第11回 生体防御機能の障害のある患者の看護①  
 第12回 生体防御機能の障害のある患者の看護②  
 第13回 感覚器系の障害のある患者の看護  
 第14回 人工呼吸器装着患者の看護と呼吸リハビリ  
 (ゲストスピーカー：呼吸リハビリ療法士)  
 第15回 急性期看護の事例展開とまとめ

#### 後期) 担当：今野

- 第16回 中枢神経系の障害のある患者の看護①  
 第17回 中枢神経系の障害のある患者の看護②  
 第18回 運動器系の障害のある患者の看護①  
 第19回 運動器系の障害のある患者の看護②  
 第20回 リハビリテーション看護に必要な看護技術  
 (グループワーク)  
 第21回 リハビリテーション看護に必要な看護技術  
 (グループワーク)  
 第22回 リハビリテーション看護に必要な看護技術  
 (演習)  
 第23回 創傷ケアと感染予防対策①  
 第24回 創傷ケアと感染予防対策②  
 第25回 障害受容に対する看護援助①  
 第26回 障害受容に対する看護援助②  
 第27回 クリティカルケアに必要な看護技術  
 (グループワーク)  
 第28回 クリティカルケアに必要な看護技術 (演習)  
 第29回 クリティカルケアに必要な看護技術 (演習)  
 第30回 まとめ

【授業実施方法】 講義、演習、グループワーク

【授業準備】 解剖生理学、各種疾患について復習しておいてください。

【教科書等】 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 (医学書院)、系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 (医学書院)

【参考文献】 適宜、授業で紹介します

【成績評価方法】 試験 (80%)、レポート・受講態度・出席状況など (20%) を総合的に評価します。

【主な関係科目】 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅲ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅰ・Ⅱ

【学生へのメッセージ】 クリティカル期・回復期の特徴を学び、観察することの大切さ、患者さんはもちろんのこと周囲への配慮を学んで欲しいと思います。解剖学・生理学を復習し、学習に臨んでください。